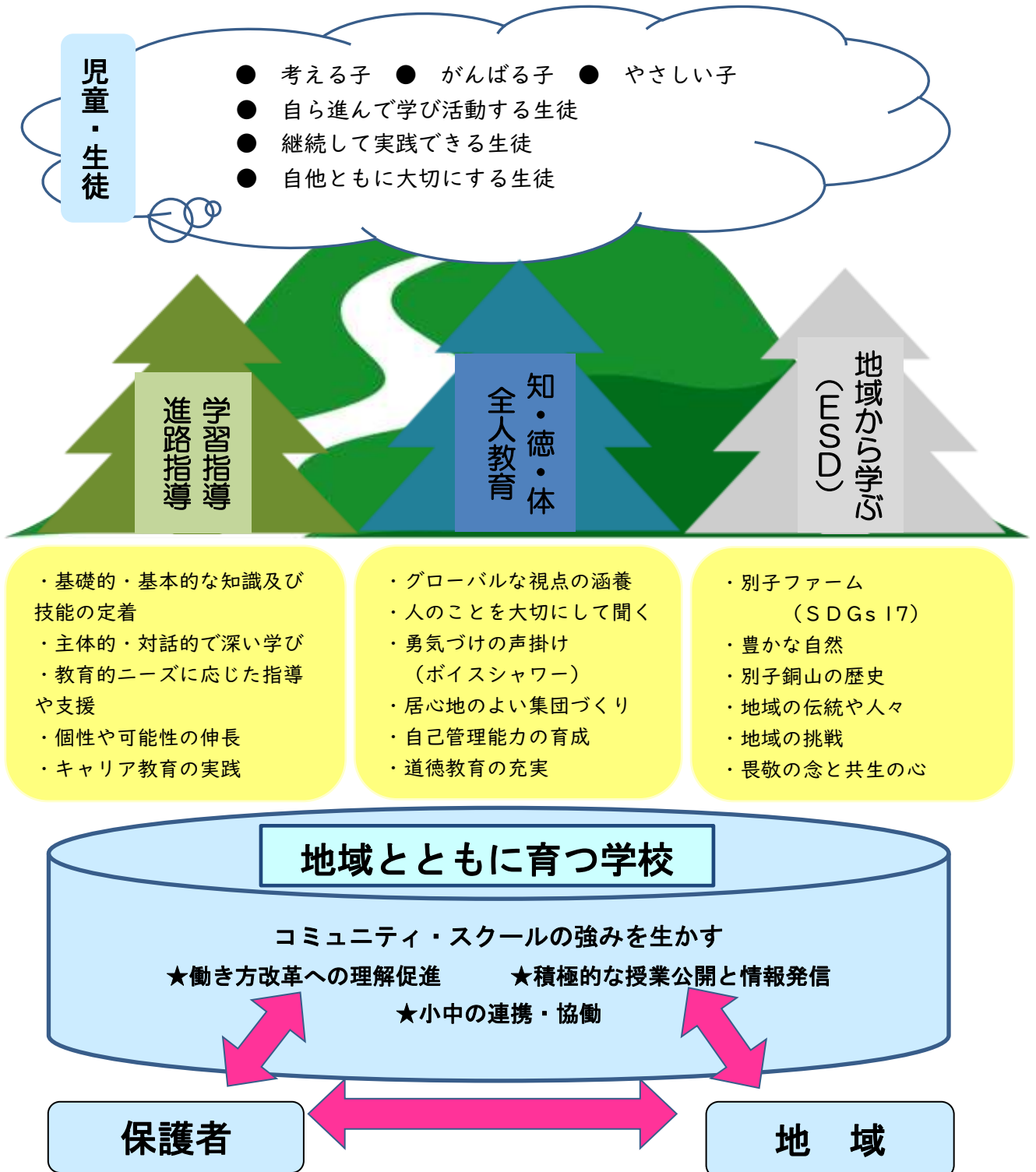




【小】ふるさとに立ち、たくましく生きる力をもつ、心豊かな児童の育成  
【中】社会に役立つ人を育てる



# 教育計画

新居浜市立別子小・中学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育む（学習指導・進路指導） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着</li> <li>○ ICT機器を効果的に活用した授業改善</li> <li>○ 自ら考え、判断し、主体的・対話的で深い学びにつなげる授業づくり</li> <li>○ 自己実現を目指す進路指導の推進</li> <li>○ 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かい指導や支援</li> <li>○ 自立と社会参加に向けたキャリア教育の実践</li> </ul> </li> <li>2 豊かな心を育む（知・徳・体 全人教育） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 温かい仲間意識を基盤とする居心地のよい集団づくり</li> <li>○ 自己管理能力の育成</li> <li>○ 良さを認め合い、共に育ち合う交流及び共同学習</li> <li>○ 豊かな感性・感動する心の育成</li> <li>○ よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成</li> </ul> </li> <li>3 地域から学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自他の生命を大切にする心の育成</li> <li>○ 生命への畏敬の念と共生の心の育成</li> <li>○ コミュニティ・スクールの強みを生かし、地域とともに育つ</li> <li>○ 豊かな自然や地域人材の活用</li> <li>○ 自然災害に備えた防災教育の推進</li> </ul> </li> </ol>				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理運営</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人的管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担当業務の適正化、校務の効率化</li> <li>○ 教職員のライフ・ワーク・バランスの充実</li> <li>○ 教育公務員としての使命の自覚と風通しの良い職場づくり</li> </ul> </li> <li>2 物的管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症や自然災害に備えた環境の整備</li> <li>○ 危険個所の早期発見・早期対応と防災対策の徹底</li> <li>○ 施設・設備・備品等の効果的な活用と適正な管理</li> </ul> </li> <li>3 事務管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協働体制の確立と校務分掌の明確化</li> <li>○ 共同学校事務室との連携による適正かつ効率的な事務管理</li> <li>○ 個人情報適切な管理・保管</li> </ul> </li> </ol>				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本校教育の特色</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">小学校</td> <td>別子銅山の閉山以降、児童数の減少があり、現在は、2家庭3名の児童のみが在籍している。近隣にある保育園は、令和5年度から休園となった。同じ校舎で生活している中学生は、毎年、校区外から6名の生徒を受け入れて、「グローバルジュニアハイスクール」として教育活動を実施している。小学生と中学生が同じ校舎で生活しているという利点を生かし、小中が連携した活動や取組を積極的に行い、小規模校の特性を生かした教育の実践に努めている。</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">中学校</td> <td>新居浜市が平成28年に「別子中学校 学び創生事業」を立ち上げ、英語・理数教育を充実させた「グローバルジュニアハイスクール」として教育活動を推進している。毎年、校区外から6名の生徒を受け入れ、校区外の生徒は、平日は寄宿舎「立志寮」で生活している。月曜日から木曜日は7時間授業を実施し、英語科の授業時数を増やす等、創意工夫のある教育課程を編成し、未来を切り拓くリーダーの育成に努めている。</td> </tr> </table>	小学校	別子銅山の閉山以降、児童数の減少があり、現在は、2家庭3名の児童のみが在籍している。近隣にある保育園は、令和5年度から休園となった。同じ校舎で生活している中学生は、毎年、校区外から6名の生徒を受け入れて、「グローバルジュニアハイスクール」として教育活動を実施している。小学生と中学生が同じ校舎で生活しているという利点を生かし、小中が連携した活動や取組を積極的に行い、小規模校の特性を生かした教育の実践に努めている。	中学校	新居浜市が平成28年に「別子中学校 学び創生事業」を立ち上げ、英語・理数教育を充実させた「グローバルジュニアハイスクール」として教育活動を推進している。毎年、校区外から6名の生徒を受け入れ、校区外の生徒は、平日は寄宿舎「立志寮」で生活している。月曜日から木曜日は7時間授業を実施し、英語科の授業時数を増やす等、創意工夫のある教育課程を編成し、未来を切り拓くリーダーの育成に努めている。
小学校	別子銅山の閉山以降、児童数の減少があり、現在は、2家庭3名の児童のみが在籍している。近隣にある保育園は、令和5年度から休園となった。同じ校舎で生活している中学生は、毎年、校区外から6名の生徒を受け入れて、「グローバルジュニアハイスクール」として教育活動を実施している。小学生と中学生が同じ校舎で生活しているという利点を生かし、小中が連携した活動や取組を積極的に行い、小規模校の特性を生かした教育の実践に努めている。				
中学校	新居浜市が平成28年に「別子中学校 学び創生事業」を立ち上げ、英語・理数教育を充実させた「グローバルジュニアハイスクール」として教育活動を推進している。毎年、校区外から6名の生徒を受け入れ、校区外の生徒は、平日は寄宿舎「立志寮」で生活している。月曜日から木曜日は7時間授業を実施し、英語科の授業時数を増やす等、創意工夫のある教育課程を編成し、未来を切り拓くリーダーの育成に努めている。				